

みんなで田植え、 楽しかったよ!

白川郷学園で小学校5年生の授業で行われた田植え。

真剣な表情で植えながらも、あちこちで歓声を上げる、賑やかな授業でした。秋の収穫が楽しみです。



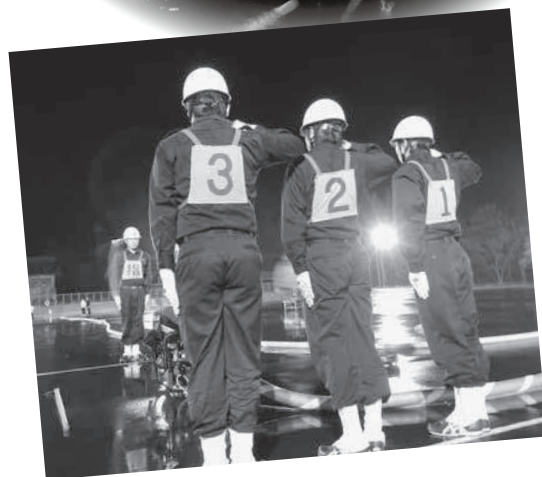
CONTENTS

- Road to岐阜県消防操法大会..... 2
- 地域おこし協力隊からこんにちは..... 4
- 白川郷学園ニュース..... 5
- カメラさんぽtopics..... 10
- 白川郷鍋食い隊 高山に登場!..... 18

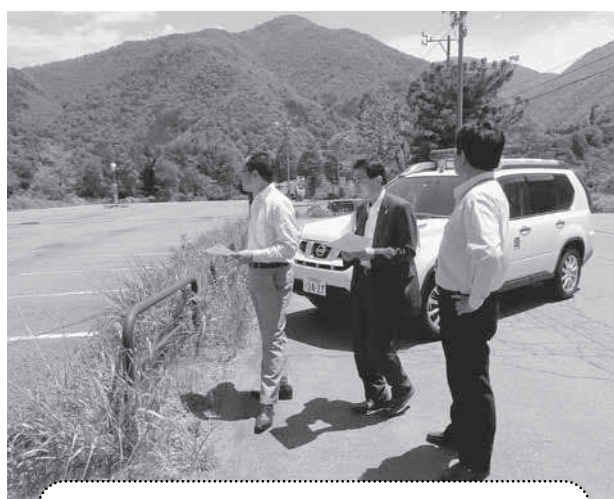
Road to 岐阜県消防操法大会

Vol.2

5月21日（水）、出場選手等が日夜訓練に励んでいることを労い、村長が激励に訪問されました。また、出場隊訓練には、消防団各分団や女性防火クラブが毎日応援に駆け付け、一丸となって取り組んでいます。皆様、ご声援宜しくお願いします！



6月2日（月）、岐阜県消防協会長が、8月3日（日）に岐阜県消防操法大会を本村で開催するにあたり、ご挨拶に来庁されました。大会を成功に納めるべく、皆様のご協力を宜しくお願いいたします。



6月3日（火）、飛騨振興局長が来庁され大会会場を視察されました。会場周辺の雄大な風景に感動され、「これまでになく素晴らしい景色。きっと大会が成功するに違いない。」とうれしいお言葉をいただきました。

防災減災情報

災害シーズンに備えて

一人ひとりの命を守る責任は最終的には皆様ご本人です。村等の情報を参考に自らの判断で避難行動出来るよう日頃から準備しておきましょう。

住民の避難行動の原則

- ・ 激しい降雨時には、河川には近づかない
- ・ 避難勧告が出されなくても、「自らの身は自分で守る」という考え方の下に、身の危険を感じたら躊躇なく自主的に避難する
- ・ 小河川等による浸水に対しては、避難勧告が発令されないことを前提とし、浸水が発生してもあわてず、各自の判断で上階等への避難等を行う
- ・ 避難勧告等の対象とする区域はあくまでも目安であり、その区域外であっても、危険だと感じれば、自主的かつ速やかに避難行動をとる

土砂災害の避難準備情報発令の判断基準

- ・ 大雨警報（土砂災害）が発表され、かつ、土砂災害警戒判断メッシュ情報で大雨警報の土壤雨量指数基準を超過した場合
- ・ 数時間後に避難経路等の事前通行規制等の基準値に達することが想定される場合
- ・ 大雨注意報が発表され、当該注意報の中で、夜間～翌日早朝に大雨警報（土砂災害）に切り替える可能性が言及されている場合
- ・ 強い降雨を伴う台風が夜間から明け方に接近・通過することが予想される場合

土砂災害の避難勧告発令の判断基準

- ・ 土砂災害警戒情報が発表された場合
- ・ 大雨警報（土砂災害）が発表され、かつ、土砂災害警戒判断メッシュ情報の予想値で土砂災害警戒情報の判断基準を超過し、さらに降雨が継続する見込みである場合
- ・ 大雨警報（土砂災害）が発表されている状況で、記録的短時間大雨情報が発表された場合
- ・ 土砂災害の前兆現象（湧き水・地下水の濁り、溪流の水量の変化等）が発見された場合

土砂災害避難指示の判断基準

- ・ 土砂災害警戒情報が発表され、かつ土砂災害警戒情報を補足する情報で土砂災害警戒情報の基準を実況で超過した場合
- ・ 土砂災害警戒情報が発表されており、さらに記録的短時間大雨情報が発表された場合
- ・ 土砂災害が発生した場合
- ・ 山鳴り、流木の流出の発生が確認された場合
- ・ 避難勧告等による立ち退き避難が十分でなく、再度、立ち退き避難を住民に促す必要がある場合

避難勧告等の発令により住民に求める行動

	立ち退き避難が必要な住民に求める行動
避難準備情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気象情報に注意を払い、立ち退き避難の必要について考える。 ・ 立ち退き避難が必要と判断する場合は、その準備をする。 ・ 災害時要配慮者は、立ち退き避難する。
避難勧告	<ul style="list-style-type: none"> ・ 立ち退き避難する。
避難指示	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難勧告を行った地域のうち、立ち退き避難しそびれた者が立ち退き避難する。 ・ 土砂災害から、立ち退き避難をしそびれた者が屋内安全確保をする。

地域おこし協力隊からこんにちは!

南部新聞発刊!のお手伝いをしています



白川郷学園の生徒達が協力隊の活動拠点の“ヒラセベースキャンプ”を編集室として、平瀬地区の自然と温泉の様子を伝える新聞“南部新聞”の発行を始めました。

創刊号となった4月号は、ふきのとうなど春の訪れと、しらみずの湯を特集。

取材内容や制作まで、編集作業のサポートを協力隊がさせていただきます。

今後の発行をお楽しみに!

編集長: 中森 龍太郎さん

副編集長: 坂下 芽唯さん 古屋 輝大さん

募集中!

村内求人情報の募集を開始!

今後、村内求人情報を役場HPで発信していきます。

求人希望がある村内事業者の皆様、柴原までご一報ください!

(掲載内容についてなど詳細をうかがいます)



Facebookページ スタートしました!

白川郷・白川村ファンを増やすために、会員制サイトFacebookで、白川村役場の公式ページ「白川村通信」がスタートしました。

今後、観光の魅力のみならず、地域行事や村民生活など普段の生活の様子を世界に向けて発信していきます。

皆様、是非「いいね!」をよろしくお願いします。

皆様の発信したい情報も随時お待ちしております!

☆ **facebook** Facebookページ 白川村通信

<https://www.facebook.com/shirakawamuratsushin>



地域おこし隊の活動はインターネットでも公開中!

☆ **地域おこし協力隊** 隊員ブログ“白川村から、こんにちは。”
<http://vill-shirakawa-heritage-mgr.blogspot.jp/>

☆ **facebook** Facebookページ 白川村地域おこし協力隊
<https://www.facebook.com/vill.shirakawa.heritage.mgr>

白川村地域おこし協力隊メンバー



高橋 淳 大倉 暁 柴原 孝治

● 問い合わせ・ご相談は 白川村役場 か 村民カフェ(毎週水曜日朝9時~16時頃)まで

白川郷学園NEWS

平成26年度 生徒会スローガンが決定

白川中学校生徒会の今年度の活動が始まりました。

石神校長先生と生徒会執行部とのランチミーティングにお邪魔し、スローガンや決定した背景を聞きました。



〈生徒会執行部〉

会長 野谷 莉菜さん 執行役員 山下 華さん
副会長 福地 倫樺さん 中森龍太郎さん

生徒会スローガン「結ぶ」

① 一人一人の力を結ぶ

組織で動くために、自分だけでなく他者意識を強くもち、自分の仕事を超えて仲間のために動く。

② 学園の信頼関係を結ぶ

合同運動会・体育祭の実施。
児童会・生徒会が連携した取り組みを実施。

③ 過去・今・未来を結ぶ

生徒会活動を地域へ発信。体育祭での民謡や話し合い活動。
地域の人を巻き込む。



【スローガンを考えたきっかけ】

学園内で、学年を越えた交流がなかなかできていなかったため、まずは学校の中から、つながって仲良くなりたかったです。

更に、こうした輪を学園の中だけでなく、地域の人たちともつながってあげれば良いと思って「結ぶ」というスローガンにしました。

交流学习が始まっています

5月21日（水）小雨模様の中、白川小学校5年生の授業で田植えが行われました。

先生たちと泥んこになりながら、歓声を上げて田植えをしていました。

白川郷学園と他校との交流学习が行われています。5月29日（木）には、北方南小学校5年生が来村し、名刺交換や共同田植えで交流を深めました。



白川郷ブランド認定管理委員会 からのお知らせ



3月末の発足から、月2回程度の会議を実施して、白川村の魅力とは何か？この白川郷ブランドを通して何を発信したいのか？など、「ブランドの価値」から本委員会や認定制度に期待される役割について議論を進めてきました。現状としては、「白川産品認定」と、「白川郷ブランド認定」の二段階による認定方式を検討しています。白川郷ブランドは、村民全員が村に誇りを持ち、育てていくことが重要になっていきます。一丸となって、白川郷ブランドを育てていきましょう。

白川産品認定

<メリット>

- ・認定商品のリスト化
- ・各種プロモーション(チラシ、マップ掲載など)
- ・イベント・物産展への参画
- ・売り場面積の確保促進

白川郷ブランド認定

<メリット> 白川産品認定メリットに加え

- ・販売促進支援
(広告出稿、インターネット等通販、ふるさと納税のお礼品、東京アンテナショップでの販売、商品仕入れ陳列サポートなど)

※体制やメリットは確定ではありません。

「第2回 白山・白川郷100kmウルトラマラソン」 ボランティア募集のお知らせ

ランナーたちをボランティアで応援しませんか？

平成26年9月21日に開催される「第2回白山・白川郷100kmウルトラマラソン」のボランティアを白山市と白川村合同で募集しています。全国各地から沢山のランナーを迎えるために、是非ともみなさんのご協力が必要です。ボランティア活動の詳細については次のとおりですので、みなさんと力を合わせてこの大会を盛り上げましょう！

○ボランティア活動の詳細

- 日時 9月21日(日) 大会当日の午前2時～午後9時まで
- 活動内容 会場業務……フィニッシュ対応、荷物預かり・荷物渡し等
コース業務……給水所での飲食物配布・コース上誘導員等
※企業・団体としての参加もOKです。
- 募集予定人員 約650名…白川村150名、白山市500名
- 募集締め切り 7月31日(木) まで
- 支給品 スタッフウェア・大会プログラム・弁当など
- 注意事項 ・ボランティアを希望される方は必ず事前説明会への参加をお願いします。
・当日の配置は事務局で決定しご案内しますが、白川村内での活動を予定しています。
- 申込み方法 白川村役場観光振興課まで申込みください。団体でお申し込みの場合は、代表者のお名前と何名参加されるかを必ずお伝えください。



- 問い合わせ先 白山・白川郷100kmウルトラマラソン実行委員会
白川村役場観光振興課 ☎05769-6-1311
白山市役所観光課 ☎076-274-9544

GW中の観光入込客数の実績報告について

荻町合掌造り集落内の観光入込客数は88,766人 昨年比較7.6%増加



国道156号 白川診療所付近の交通渋滞

今年のゴールデンウィーク中(4月26日～5月6日)の荻町合掌造り集落の入込客数を観光振興課商工観光係でまとめました。今年のゴールデンウィークは11日間で、入込客数は88,766人、1日当たり8,070人となりました。全体では、昨年のゴールデンウィークは10日、本年は11日ということで、ゴールデンウィーク中の比較は7.6%の増加となりましたが、1日当たりの入込客数は約200人の減少。普通車による入込客数は、1日当たり約3,800人(昨年比70.7%)、大型車による入込客数は1日当たり約4,200人(昨年比110.5%)でした。

入込客数が減少した要因として、期間中に4日の平日があったことや、団体の方(大型車)が増えた以上に、個人で移動する訪客(普通車)の減少が考えられます。今後も引き続き、白川郷への集客のため、広域連携による国内外の誘客キャンペーンを強化していくとともに、再度訪れていただけるような体制作り、併せて来訪者に喜びと感動を与えられる世界遺産集落の景観保全に努めていく必要があります。

また、5月4日(日)は、せせらぎ駐車場、寺尾臨時駐車場とも一時満車となり、国道156号では、荻町集落から白川郷IC料金所まで車列が並び、一時高速道本線までの渋滞が発生しました。連休中一番の交通渋滞となりました。

- 問い合わせ先 観光振興課 商工観光係 TEL6-1311